

2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月14日

上場会社名 株式会社コレックホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6578 URL <https://www.correc.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）栗林 憲介
 問合せ先責任者 （役職名）取締役副社長グループＣＦＯ （氏名）西崎 祐喜 （TEL）03-6825-5022
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	1,774	△2.3	△100	—	△111	—	△115	—	△79	—
2026年2月期第1四半期	1,815	80.4	124	—	111	—	110	—	87	—

※EBITDA＝減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

（注）包括利益 2027年2月期第1四半期 △79百万円（－％） 2026年2月期第1四半期 87百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	△10.78	—
2026年2月期第1四半期	11.89	11.70

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	2,860	927	31.8
2026年2月期	3,074	1,073	34.4

（参考）自己資本 2027年2月期第1四半期 910百万円 2026年2月期 1,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2027年2月期	—				
2027年2月期（予想）		0.00	—	9.00	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,101	21.2	281	152.2	228	262.6	211	202.4	197	391.4	26.91
	～8,138	～21.7	～318	～185.3	～265	～321.1	～248	～255.3	～221	～451.5	～30.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期1Q	7,348,900株	2026年2月期	7,348,900株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	一株	2026年2月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年2月期1Q	7,348,900株	2026年2月期1Q	7,330,700株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法及び決算説明会の開催）

当社は、本日（2026年7月14日）にライブ配信での決算説明会を開催いたします。当日使用する四半期決算説明資料については、T D n e t 及び当社ホームページに同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年3月1日～2026年5月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要がサービス消費を下支えした一方で、物価上昇やエネルギー価格の高止まりなどの影響が続き、景気は弱含みで推移いたしました。また、米国の通商政策や金利動向、為替相場の変動に加え、中東情勢をはじめとする地政学的リスクなどにより、先行き不透明な状況が続いております。当社グループを取り巻く事業環境におきましては、国際情勢の不安定化に伴う資源価格の変動や不確実性が高まる一方、脱炭素化及びAI等のデジタル化の進展に伴う電力需要の増加など、新たな構造変化が進んでおります。また、国内における労働人口の減少が進むなか、企業の業務効率化や営業活動の外部委託へのニーズは底堅く推移しているものの、これらを背景とした市場環境の激化により、依然として厳しい競争が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、安定的な収益基盤の確保と組織基盤の強化及び事業の拡大に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間では、メディアプラットフォーム事業において、収益性の高い多様なメディア運営に加え、新たな広告集客モデルの構築にも注力しており、継続して安定的な利益の確保に努めてまいりました。アウトソーシング事業では、ショット型商材の拡大及びストック型商材の会員数が着実に増加したことで売上高が大きく伸長いたしました。利益面におきましては、将来の成長に向けた販管費の先行投資に伴い減少したものの、引き続き売上高の成長を維持しつつ、今後は効率的な運用体制の構築を図り、向上に努めてまいります。一方、エネルギー事業では、既存ビジネスの受注残高の整理に伴い売上高は縮小したものの、今後は新規事業への参入等により、収益回復と再成長を図ってまいります。

これらの取組みの結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきまして、売上高は1,774,008千円（前年同期比2.3%減）、営業損失は111,928千円（前年同期は営業利益111,963千円）、経常損失は115,337千円（前年同期は経常利益110,062千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は79,190千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益87,191千円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

a. エネルギー

当セグメントは、太陽光パネルや蓄電池等の太陽光関連商材の販売から施工まで一貫して行っております。また、一般ユーザー向けに対面コンサルティングやウェブコンサルティングなどを通じて、クリーンエネルギーの普及を目指しております。

当セグメントにおきましては、売上高が55,142千円（前年同期比92.7%減）、セグメント損失（営業損失）は76,894千円（前年同期はセグメント損失1,553千円）となりました。

b. アウトソーシング

当セグメントは、顧客企業から受託するマーケティング活動に関連する業務及び営業コンサルティングに関連する業務をフィールドセールスとコールセンターにて行っております。また、これまで培ってきたマーケティングノウハウを活かし、自社ストック型商材の開発を含めた取扱い商材を拡大し、人材採用による組織拡大を積極的に行っております。

当セグメントにおきましては、売上高が1,114,670千円（前年同期比65.9%増）、セグメント損失（営業損失）は55,678千円（前年同期はセグメント利益93,494千円）となりました。

c. メディアプラットフォーム

当セグメントは、多数のオウンドメディアを通じて、幅広いユーザーに向けた情報発信メディアプラットフォームを運営しております。主なオウンドメディアは、ゲーム攻略サイト、インターネットに関する情報サイト、転職者向け情報サイト、不動産及び地域情報サイト等になります。また、SEOに頼らない広告集客モデルや人材プラットフォームビジネスも新たに展開を進めております。

当セグメントにおきましては、売上高が599,847千円（前年同期比57.7%増）、セグメント利益（営業利益）は81,249千円（前年同期比4.5%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2,860,093千円(前期末比7.0%減)となりました。

主な内訳は、現金及び預金が1,341,796千円(同8.1%減)、営業未収入金が943,247千円(同17.7%減)、前払費用が82,277千円(同130.4%増)、投資その他の資産が332,933千円(同11.8%増)であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は1,932,290千円(前期末比3.5%減)となりました。

主な内訳は、未払人件費を含めた未払費用が712,572千円(同3.3%減)、返金負債が268,246千円(同61.5%増)、有利子負債が707,232千円(同3.6%減)であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は927,803千円(前期末比13.5%減)となりました。

主な内訳は、資本金が53,982千円、資本剰余金が596,162千円、利益剰余金が260,786千円(同35.8%減)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期連結業績予想につきましては、2026年4月14日の「2026年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

(業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、経済環境等の様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,460,042	1,341,796
営業未収入金	1,145,941	943,247
商品	8,266	4,673
前払費用	35,717	82,277
未収入金	16,050	16,340
未収還付法人税等	—	154
未収消費税等	37,220	53,476
その他	1,139	3,588
貸倒引当金	△25,514	△24,959
流動資産合計	2,678,863	2,420,596
固定資産		
有形固定資産	11,484	17,265
無形固定資産		
のれん	53,392	44,920
ソフトウェア	32,772	39,417
ソフトウェア仮勘定	560	4,959
無形固定資産合計	86,726	89,297
投資その他の資産		
投資その他の資産	309,036	344,064
貸倒引当金	△11,131	△11,131
投資その他の資産合計	297,904	332,933
固定資産合計	396,115	439,496
資産合計	3,074,978	2,860,093
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,480	113,608
短期借入金	480,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	106,656	106,656
未払費用	737,092	712,572
未払法人税等	36,282	726
未払消費税等	90,666	59,129
契約負債	4,639	2,441
返金負債	166,059	268,246
賞与引当金	—	7,736
その他	92,854	60,597
流動負債合計	1,854,731	1,811,714
固定負債		
長期借入金	147,240	120,576
固定負債合計	147,240	120,576
負債合計	2,001,971	1,932,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,982	53,982
資本剰余金	596,162	596,162
利益剰余金	406,116	260,786
株主資本合計	1,056,262	910,931
新株予約権	16,744	16,871
純資産合計	1,073,007	927,803
負債純資産合計	3,074,978	2,860,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	1,815,424	1,774,008
売上原価	556,765	68,716
売上総利益	1,258,659	1,705,292
販売費及び一般管理費	1,146,695	1,817,221
営業利益又は営業損失(△)	111,963	△111,928
営業外収益		
受取利息	51	415
雑収入	1,143	91
営業外収益合計	1,194	507
営業外費用		
支払利息	2,195	2,579
支払手数料	678	1,186
雑損失	221	149
営業外費用合計	3,095	3,916
経常利益又は経常損失(△)	110,062	△115,337
特別利益		
関係会社株式売却益	12,278	—
特別利益合計	12,278	—
特別損失		
減損損失	1,941	—
特別損失合計	1,941	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	120,400	△115,337
法人税、住民税及び事業税	25,704	729
法人税等調整額	7,504	△36,877
法人税等合計	33,209	△36,147
四半期純利益又は四半期純損失(△)	87,191	△79,190
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	87,191	△79,190

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	87,191	△79,190
四半期包括利益	87,191	△79,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,191	△79,190
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	2,673千円	3,446千円
のれんの償却額	9,379	8,471

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー	アウトソーシング	メディアプラットフォーム	計				
売上高								
外部顧客への売上高	756,379	671,857	380,337	1,808,573	6,851	1,815,424	—	1,815,424
セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	4,200	4,200	—	4,200	△4,200	—
計	756,379	671,857	384,537	1,812,773	6,851	1,819,624	△4,200	1,815,424
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△1,553	93,494	85,072	177,013	△18,688	158,325	△46,361	111,963

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発、エンジニア派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△46,361千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー	アウトソーシング	メディアプラットフォーム	計				
売上高								
外部顧客への売上高	55,142	1,114,670	599,847	1,769,659	4,348	1,774,008	—	1,774,008
セグメント間の内部売上高または振替高	—	54	8,500	8,554	43,206	51,761	△51,761	—
計	55,142	1,114,725	608,347	1,778,214	47,555	1,825,769	△51,761	1,774,008
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△76,894	△55,678	81,249	△51,323	△4,013	△55,336	△56,592	△111,928

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△56,592千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。